

平成30年1月月報

1 はじめに



明けましておめでとうございます。家族会の皆様におかれましては、清々しい新年を迎えられたことと思います。今年は、明治維新から150年の節目にあたりますが、さて、どんな年になるのでしょうか。

昨年からの激動の流れは、更に激しさが増すことも考えられます。

家族会としましては、情勢の変化を注視しながら、隊員を思う親や家族の気持ちを大切に、家族支援協力を始めとする活動を通じて隊員と家族が強い絆でつながれた「自衛隊家族会」を目指して参りたいと考えています。

本年も昨年同様、引き続きのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2 平成30年度防衛予算案



12月22日に平成30年度防衛予算を5兆1,911億円とすることで閣議決定されました。昨年度比1.3%増で6年連続の増額、過去最高額です。長期距離ミサイル発射を繰り返す北朝鮮への警戒態勢を強化するため地上配備型の弾道ミサイル迎撃システム「イージス・アショア」の設計費や軍事増強を続ける中国への防衛強化のため宮古・石垣両島に配備する部隊の施設整備費などを計上しています。

3 自衛隊家族会の活動

(1) 平成29年度第3回理事会（書面決議）結果

12月に第3回理事会（書面決議）が行われ、30名の理事全員が議案に同意し、2名の監事が異議ないとの意志表示をして頂きましたので「平成30年度事業計画骨子（案）」は、原案どおり成立しました。

各県家族会に対し、「平成30年度事業計画骨子（案）」をお送りしましたので「平成30年度事業計画及び同予算書」を作成し、平成30年2月28日（水）までに提出して下さい。

(2) 会員拡大のための施策

今年も各自衛隊の部隊長、教育機関の長及び地方協力本部長に家族会が行う会員拡大施策に協力頂けるよう依頼文書を12月20日付で発出しました。それに伴い、各県家族会長は地方協力本部と連携して家族会入会意識調査アンケートの回収などについて協力を頂いて下さい。

会員拡大のため各県会長・事務局長に対しては「平成30年度入会率目標の設定」「地本長への協力依頼文書」地本に依頼する「自衛隊家族会入会意識調査アンケート」をお送りしたので確認して下さい。

(3) 自衛隊家族会識別装着品のデザイン決定と配布

【帽子】



【ビブス】



家族支援協力活動を始め各種活動時に着用して、会員であることを認知して頂くとともに広報にも効果が期待できる装着品を検討して参りましたが、本会のイメージカラーとしての茜色をベースにした帽子と自衛隊家族会のロゴマーク入りビブスを上記のデザインに決定しました。1月末に会員数に応じた枚数（11～28着）を各県家族会にお送りしますので、活用して下さい。更に枚数を要望される場合は、県家族会で経費を負担して頂ければ、数を増やすことができます。

4 各県自衛隊家族会の活動

(1) 近畿地域協議会



協議会参加者一同

11月18日、奈良市において近畿地域協議会（村上日朗会長）が開催され、本部から、宗像副会長と海沼理事が参加しました。協議会では、宗像副会長が「最新の情勢、自衛隊そして家族会」の講話を行うとともに「家族会支援協力の本格的施行に伴う今後の対応」及び「自衛隊家族会の活性化施策」について活発な意見交換が行われました。

(2) 南関東地域協議会



情報・意見交換風景

11月21日、練馬駐屯地において南関東地域協議会（岡本智博会長）が開催され、本部から、渡邊（至）理事が参加しました。協議会では、「家族会支援協力の本格的施行に伴う今後の対応」及び「自衛隊家族会の活性化施策」についての意見交換及び各県の現状報告が行われました。その後、柴田師団長の講話、懇親会では、住田東方総監のご出席を得て、意見交換が行われました。

(3) 各種活動スナップ

【イージス艦乗組員の慰労】



京都府家族会



長崎県家族会



青森県家族会

【出身隊員との懇談】



兵庫県家族会

【入隊予定者との懇談】



群馬県家族会

【入隊予定者の激励】



長野県家族会

【舞鶴基地を研修】



徳島県家族会



愛知県家族会